

R5 年度 学習の手引き（シラバス）

2

学年 教科・科目

保健体育・保健(4学科共通)

単位数

1

担当者

井上・森

1、教科書・副教材

教科書 「現代保健体育」 大修館書店
「現代保健ノート」 大修館書店

2、科目の目標

社会の一員として健康問題を考え、健康的な生活習慣を身につけ、健康に好ましい環境をつくるための知識と能力を高めるよう育成する。

3、学習の計画

月	学習項目	学習のねらい	時数	考査範囲
前期	4月 リエンション 思春期と健康 性意識と性行動	・生涯にわたって健康を保持増進するには、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境作りがかかわっていることを理解する。	18	生涯を通じる健康（10時間）
	5月 結婚生活 妊娠・出産 家族計画 人工妊娠中絶			
	6月			
	7月 働くことと健康			
	8月 9月			
後期	10月 環境と健康	・人間の生活や産業活動は自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすこともあることを理解する。 ・食品の安全性を確保するよう基準が設定され、それに基づき行われていることを理解する。 ・労働災害の防止には、作業形態、作業環境の変化に起因する傷害や職業病などを踏まえた適切な健康管理及び安全管理をする必要がある。	17	健康を支える環境づくり（7時間） 健康を支える環境づくり（10時間）
	11月 食品衛生活動 食品と環境の保健			
	12月			
	1月 労働災害・職業病			
	2月 3月			

4、評価の方法・観点

	評価の観点の趣旨	主な評価方法
知識・技能	健康や安全について理解しているか	年3回テスト・小テスト・技術講習
思考・判断・表現	仲間と協力し状況に応じた活動ができているか。日常生活に置き換えて、思考できているか。	年3回のテスト・ワークシート・グループ活動
主体的に学習に取り組む態度	毎回の授業に主体的に取り組むことができたか。	出席・発言・グループワークへの参加状況・授業態度

5、学習にあたっての注意とアドバイス

- (1) 教科書を主として学習を進める
- (2) 「良き仲間づくり」を意識した授業展開
- (3) 生徒と教師の一体感

R5年度 学習の手引き（シラバス）

2	学年	教科・科目	保健体育・体育(4学科共通)	単位数	2	担当者	井上・太田・森・北澤
---	----	-------	----------------	-----	---	-----	------------

1、教科書・副教材

なし

2、科目の目標

運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。

3、学習の計画

		学習項目	学習のねらい	時数	考査範囲			
前期	4月	オリエンテーション 体力テスト 体ほぐしの運動	・健康の保持増進や体力の向上を図り、目的に適した運動の計画や自己の体力や生活に応じた運動の計画を立て、実生活に役立てることができるようにする。	35				
	5月	体力を高める運動 球技						
	6月	ネット型 バレーボール						
	7月	ダンス	・状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防を展開する。 ・感じを込めて踊ったり、自由に踊る楽しさを味わい、交流や発表の仕方、体力の高め方を理解する。					
	8月	体育理論	・スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴について理解できるようにする。					
	9月	球技 ベースボール型 ソフトボール	・状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防を展開する					
	後期	10月	球技 ゴール型 サッカー			・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの連携した動きによって空間への侵入などから攻防を展開する。 ・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの連携した動きによって空間への侵入などから攻防を展開する。	35	
		11月	球技 ゴール型					
		12月	バスケットボール 球技					
1月		ネット型 卓球						
2月		バドミントン						
3月		特別編成授業						

4、評価の方法・観点

	評価の観点の趣旨	主な評価方法
知識・技能	各種目の特性に応じた技能を身につけている。 生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するための理論について理解している	技能テスト、技能数値、試合形式での授業、基礎的な体の使い方 等
思考・判断・表現	課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。	ワークシートでの意見考察内容、試合形式内での声掛け、安全配慮 等
主体的に学習に取り組む態度	毎回の授業で主体的に取り組むことができたか。	出席、準備、片付け、安全確認、挨拶、体操、協同姿勢 等

5、学習にあたっての注意とアドバイス

(1) 安全面の留意 (2) 「良き仲間づくり」を意識した授業展開 (3) 生徒と教師の一体感
